講座名	緑を楽しむ講座柏 ニュータウンに残る小さな森の物語				
開催日時	2023年	2月 26日(日)	10時 ~ 1	2時	
開催場所	柏市あけぼの山農業公園			一般参加者	16名

活動概要







印西市草深の森 を、植物に注目 して紹介させて いただきました。

北総と言われる地域で、千葉ニュータウンに隣接したエリアに、何故モミが自生し、繁殖し続 けているのかということを中心に、草深の森の存在意義と、草深の森で見られる問題点を例 に、都市近郊の自然の現状を解説させていただきました。







草深の森のモミ

落果した球果

モミの発芽

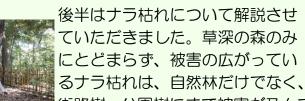
草深の森のモミは氷河期を生き抜いたものと考えられています。他に も、ハシバミやクロウメモドキ、オオバクロモジなど、冷涼な気候を 好む植物と、オモト、オニシバリ、カラタチバナなど、比較的温暖な 気候を好む植物が混在している場所です。

近年"勝手植え"という言葉を多く聞きます。良かれと思って植えて 行かれた植物、ヒメヒオウギズイセン、ツルニチニチソウ、ラッパズ イセンなどが多く見られ、森の生態系を崩してしまうことがあります。 民家に近接していることから、庭に植えられていた木の実を鳥が運ん だと思われるヒイラギナンテンやキウイフルーツ、鉢の土と共に捨て られたかと思われるオオバアマナなど、園芸植物由来のものも多く見 られるようになっていて、こちらも大きな問題になっています。



ハシバミ







ヒメヒオウギズイセン

街路樹、公園樹にまで被害が及んでおり、大きな問題になっ ています。

古木に多く発生しており、トラップで捕殺するなどの対策を紹介させていただきました。

FIC講師 広畠真知子